

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成24年8月9日(2012.8.9)

【公開番号】特開2010-30294(P2010-30294A)

【公開日】平成22年2月12日(2010.2.12)

【年通号数】公開・登録公報2010-006

【出願番号】特願2009-151482(P2009-151482)

【国際特許分類】

B 41 J 2/05 (2006.01)

【F I】

B 41 J 3/04 103B

【手続補正書】

【提出日】平成24年6月22日(2012.6.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の記録素子を複数のブロックに分けて時分割で駆動を行ってインクを吐出する記録ヘッドであって、

記録素子を駆動する駆動手段と、

1回のインクの吐出について、前記複数の記録素子の駆動を許可する期間を定める許可信号が入力される入力手段と、

前記入力手段によって入力された許可信号で定められた期間に検出されるパルス信号に基づき、前記駆動手段の時分割駆動を制御する制御手段と、を備えることを特徴とする記録ヘッド。

【請求項2】

前記制御手段は、グループ毎に記録素子の駆動タイミングを生成するタイミング生成手段を備えることを特徴とする請求項1に記載の記録ヘッド。

【請求項3】

前記制御手段は、駆動する記録素子を選択する信号を生成する信号生成手段を備えることを特徴とする請求項1に記載の記録ヘッド。

【請求項4】

前記制御手段は、前記許可信号で定められた期間にてパルス信号を検出するための検出手段を備えることを特徴とする請求項1に記載の記録ヘッド。

【請求項5】

前記制御手段は、前記パルス信号の数をカウントするカウンタを備えることを特徴とする請求項1に記載の記録ヘッド。

【請求項6】

請求項1に記載の記録ヘッドを用いて記録を行う記録装置であって、

前記許可信号を生成する生成手段と、

時分割の駆動のタイミングに同期して、前記生成手段によって生成された前記許可信号を前記記録ヘッドへ転送する転送手段と、を備えることを特徴とする記録装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上述の課題を解決するために、本発明の記録ヘッドは、複数の記録素子を複数のプロックに分けて時分割で駆動を行ってインクを吐出する記録ヘッドであって、記録素子を駆動する駆動手段と、1回のインクの吐出について、前記複数の記録素子の駆動を許可する期間を定める許可信号が入力される入力手段と、前記入力手段によって入力された許可信号で定められた期間に検出されるパルス信号に基づき、前記駆動手段の時分割駆動を制御する制御手段と、を備えることを特徴とする。